

| 空間 | 項目 | 5/6まで | 5/7～夏休み 現時点での予定であり今後 変更もあり得る | 8月 現時点での予定であり今後 変更もあり得る |
|---------------------|-----------------------|---|--|--|
| 大学全体としての対応 | TOEIC試験 | 実施の中止 | 実施の中止 | |
| | 学生への周知方法 | 学生一斉メール、HP又は安否確認システム(ANPIC)を使用して周知 | 学生一斉メール、HP、学内掲示又は安否確認システム(ANPIC)を使用して周知 | 学生一斉メール、HP、学内掲示又は安否確認システム(ANPIC)を使用して周知 |
| | 大学見学(高専生・高校生等)の要請への対応 | 受け付けない | 受け付けない | 受け付けない |
| | 実務訓練、特に海外実務訓練 | 海外実務訓練の中止は決定済 中止の判断を検討 | 中止の判断を検討 中止の場合、学部4年生への実務訓練中止と代替え措置(課題研究)を周知 | |
| | ツイニング・プログラム | 4月編入を9月に延期 | | |
| システム安全専攻 | 講義 | ライブ配信方式の授業を自宅等で受講 | (教員許可を得て授業録画を視聴し受講可能) | (状況に応じ対応) |
| 講義棟 | 講義-成績報告も含む | 講義は遠隔授業・大学閉鎖 | 講義は遠隔授業・大学閉鎖 | |
| | 実験・演習 | 実験・演習の延期を周知・大学閉鎖 | 実験・演習の実施方法を各専攻で検討 大学閉鎖の場合は、延期を周知・大学閉鎖 | |
| | コモン・スペース | 閉鎖の周知 | 閉鎖の周知 | |
| 図書館 | | 完全閉鎖 | 一般市民の利用は不可 大学全体が閉鎖となれば閉館 閉鎖が部分的で、保健所の指導により開館可であれば利用可 | 一般市民の利用は不可 大学全体が閉鎖となれば閉館 閉鎖が部分的で、保健所の指導により開館可であれば利用可 |
| 福利棟 | 食堂 | 寮生のため規模を縮小して営業 | 感染管理をして、収容人数を減らして開業 大学休業の場合、寮生のため規模を縮小して開業 | 感染管理をして、収容人数を減らして開業 大学休業の場合、寮生のため規模を縮小して開業 |
| | 売店 | 営業時間の短縮 10:00-16:00 土日祝日は休業 | 除菌アルコールを設置するなど感染管理 大学休業の場合、期間中閉店 | 除菌アルコールを設置するなど感染管理 大学休業の場合、期間中閉店 |
| 体育館、プール | 運動-クラブ活動を含む | 屋内施設開放せず・クラブ活動自粛(長岡市スポーツ協会の施設開放に準じる) | 屋内施設開放せず・クラブ活動自粛(長岡市スポーツ協会の施設開放に準じる) | |
| 体育館、プール、セコムホール | 集会など | 大学全体が休業 | 大学全体が休業又は社会の対応状況により判断 | |
| 体育館 | 健康診断 | 延期 | 感染管理して実施を検討 大学休業の場合は延期 | |
| 体育・保健センター、学生なんでも相談室 | カウンセリング | 大学全体が休業 | 感染対策を講じ随時受付して実施。ZOOMIによる実施も検討中 大学全体が休業の場合は休止 | 感染対策を講じ随時受付して実施。ZOOMIによる実施も検討中 大学全体が休業の場合は休止 |
| 学生宿舎 | 入居手続き+居住 | 新入生はの入居は既に延期 居住者は待機 | 入居後は、玄関前に設置したアルコール消毒液にて適宜除菌 大学休業の場合、居住者は一時帰省可能か検討 | 入居後は、玄関前に設置したアルコール消毒液にて適宜除菌 大学休業の場合、居住者は一時帰省可能か検討 |
| 国際交流会館 | 入居手続き+居住 | 新入生は一部既に入居済 | 入居後は、玄関前に設置したアルコール消毒液にて適宜除菌 大学休業の場合、居住者は一時帰省可能か検討 | 入居後は、玄関前に設置したアルコール消毒液にて適宜除菌 大学休業の場合、居住者は一時帰省可能か検討 |
| 匠稜クラブ、クラブハウス | 宿泊 | 集団生活するクラブハウスは使用禁止 保健所の指導により匠稜クラブの使用が可であれば感染対策(隔離)として使用 | 集団生活するクラブハウスは使用禁止 保健所の指導により匠稜クラブの使用が可であれば感染対策(隔離)として使用 | 集団生活するクラブハウスは使用禁止 保健所の指導により匠稜クラブの使用が可であれば感染対策(隔離)として使用 |